

# The Natural Resource Economics Review

No. 15

2010

*Satoyama* Conservation and Public Intentions with Regard to Conservation Activities  
..... Takashi TAKEBE and Mitsuyuki TOMIYOSHI ( 1)

Determining Factors for Foreign Direct Investment by Japanese Food and  
Agricultural Companies  
— An Approach by the Application of Tobit Model and Field Survey in  
Liaoning and Jiangsu Provinces in China —  
..... Masaru KAGATSUME ( 17)

The Paradigm Shift in East German Agricultural History,  
from the Cold War to Post Cold War Eras. .... Yoshihiro ADACHI ( 41)

Optimal Pricing and Diseconomies of Scale in Public Water Utilities  
..... Yukio MUTO ( 63)

(Note)

Old Documents on Forestry and Forest Products in Ohara, Kyoto, Japan (3):  
Documents pertaining to the Transfer of Forest Ownership to Temples  
..... Kozue TAGUCHI, Koji MATSUSHITA, Hideo UNO (126)

©Natural Resource Economics Division  
Graduate School of Agriculture  
Kyoto University

生  
物  
資  
源  
経  
済  
研  
究  
  
第  
15  
号

# 生物資源経済研究

No. 15

2010年

*Satoyama* Conservation and Public Intentions with Regard to Conservation Activities  
..... Takashi Takebe and Mitsuyuki Tomiyoshi ( 1)

日系食品農業関連企業の海外事業展開の動向とその規定要因  
— 質的選択モデル（トービット・モデル）の適用と  
遼寧省・江蘇省の現地調査からの接近 — ..... 加賀爪 優 ( 17)

東ドイツ農業史研究のパラダイム転換  
— 「冷戦期」から「ポスト冷戦期」へ — ..... 足立 芳宏 ( 41)

Optimal Pricing and Diseconomies of Scale in Public Water Utilities  
..... Yukio Muto ( 63)

(研究ノート)

京都大原の山林文書（三）御入木山における山林売買を中心として  
..... 田口 標・松下 幸司・宇野日出生 (126)

京 都 大 学 大 学 院 農 学 研 究 科  
生 物 資 源 経 済 学 専 攻

二  
〇  
一  
〇  
年  
三  
月

## 『生物資源経済研究』規定

### 1. 投稿資格・著作権・編集要領

- 1) 単著論文の投稿資格者は、生物資源経済学専攻（以下、専攻と略記）教員、本専攻在籍中ないし在籍後5年以内の内地研究員・外国人招聘学者・外国人共同研究者、および編集委員会で特に認められたものとする。なお、別途定める『生物資源経済研究』内規に基づき、本専攻の院生（およびこれと同等以上と認められる者）も、専攻会議の了承のもとに投稿できる。
- 2) 共著論文の第一執筆者は本専攻教員に限定するものとする。
- 3) 著作権：本誌に掲載された論文・抄録の著作権は、本専攻に属するものとする。なお執筆者自身が自らの論文を利用することは差し支えないものとする。
- 4) 原稿の採否の決定：原稿の採否は、複数査読にもとづき編集委員会が行うこととする。採用決定日をもって受理日とする。
- 5) 発行回数と別刷り：年1回発行を原則とする。別刷りは各原稿当たり20部まで無料で著者に贈呈し、それ以上は著者の実費負担とする。
- 6) 著者校正：著者校正は原則として2回行う。誤植以外の加筆・修正はできないこととする。

### 2. 執筆要領

- 1) 原稿種別は論文と研究ノートの2種とし、投稿者は投稿時に種別を明記する。
- 2) 原稿枚数は、図・表を含め、和文の場合は横書き400字詰め原稿用紙換算で50枚以内、英文の場合は、A4用紙にダブルスペース（28行、1行10～15単語）で30枚以内を目安とする。和文の場合は英文抄録（300単語以内）と英文題名を、英文の場合は和文抄録（800字以内）と和文題名を投稿時に添付する。原稿は完成原稿とそのハード・コピー2部を、データ・ファイルを添付の上で、編集委員長ないし副委員長に提出するものとする。
- 3) 特殊な専門用語・学術用語のほかは、原則として新仮名遣い・常用漢字を使用する。
- 4) 論文の節項表示は、1. (1)、1)、a のようにする。
- 5) 単位は%、kg、haなどの略号を用い、数字は5億6,728万などと表す。
- 6) 図表は、図1、表1 (Fig1. Table 1) のように示す。また図表の挿入位置については、完成原稿の右余白に朱書きで明示する。
- 7) 本文注記は各頁ごとではなく本文末尾に一括して掲載する。また引用文献は注記を原則とし下記の要領によるものとするが、各分野学会誌の様式に準じた表記も認める。
  - 1) 和文の場合
    - a. 著者名「書名」（シリーズ名）、出版社、出版年（奥付けによる）、ページ。
    - b. 執筆者名「論文名」、編著者名「書名」（シリーズ名）、出版社、出版年、ページ。
    - c. 執筆者名「論文名」、『雑誌名』巻号（年月）、ページ。
  - 2) 欧文の場合
    - a. 名頭文字・姓、書名（出版他：出版社、出版年）、p.（またはpp.）
    - b. 名頭文字・姓、「論文名」、雑誌名、巻号（月、年）、p.（またはpp.）

### 付 記

- (1) 本規定の改正は専攻会議の承認を得なければならない。
- (2) 本規定は平成7年9月14日より実施する。
- (3) 本改正は平成13年7月31日より実施する。
- (4) 本改正は平成17年2月1日より実施する。
- (5) 本改正は平成20年1月1日より実施する。

### 執筆者紹介 (掲載順)

武部 隆 京都大学農学研究科 (食料・環境政策学分野)  
富吉 満之 京都大学地球環境学舎 (地球環境学専攻 博士後期課程)  
加賀爪 優 京都大学農学研究科 (地域環境経済学分野)  
足立 芳宏 京都大学農学研究科 (比較農史学分野)  
武藤 幸雄 京都大学農学研究科 (国際農村発展論分野 研修員)  
田口 標 京都大学農学研究科 (農業組織経営学分野)  
松下 幸司 京都大学農学研究科 (森林科学専攻森林環境計画学分野)  
宇野日出生 京都市歴史資料館総括主任研究員

### 『生物資源経済研究』第15号の編集を終えて

本年度も、皆様のご協力により、当誌を刊行することができました。

論文4本、研究ノート1本と、本数は例年並みですが、英語論文が2本含まれているほか、教員以外(研修員)からの投稿論文も1本掲載した点が、従来にない特徴です。英語論文については、ネイティブ・スピーカー以外の執筆者による論文の場合、英文を校閲するという一般的な常識にしたがい、外部業者に校閲を依頼しました。従来、英語論文の校閲に関する規定がなかったので、今年度に限り、編集委員会の予算で校閲費を賄いましたが、来年度以降は、執筆者の自己負担になる見込みです。また、研修員からの投稿に関しては、規定に従い、投稿者が所属する分野の教授による内容説明、および、編集委員会、専攻会議での審査を経たうえで採択するという手続きを踏みました。生物資源経済学分野の国際化が進み、若手研究者の就職戦線における競争が激化してゆく中で、英語論文や教員以外の研究者による論文の投稿は、今後、ますます増加する可能性があります。

来年度以降も、多くの投稿を期待することは、言うまでもありませんが、編集委員会として、新しい時代における当誌の活用方法についても考えてゆく必要があるのではないのでしょうか。

平成22年2月25日

編集委員長 福井 清一

### 『生物資源経済研究』第15号編集委員 (五十音順)

足立芳宏 大石和男 香川文庸 (副委員長) 川村 誠 武部 隆  
沈 金虎 辻村英之 福井清一 (委員長)

### 生物資源経済研究 第15号

2010年3月15日 印刷

2010年3月25日 発行

編集 京都大学大学院生物資源経済学専攻  
生物資源経済研究 編集委員会

電話 075-753-6201

発行 京都大学大学院生物資源経済学専攻  
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

印刷 創文堂印刷(株)

平成 年 月 日

御中

京都大学大学院農学研究科  
生物資源経済学専攻

刊行物資料の送付について

このたび下記の『生物資源経済研究』を専攻紀要として刊行いたしました。  
御高覧いただきたく御送付申し上げます。

お手数ながら下添の受領書を御送付下さるようお願い申し上げます。

なお、今後新資料の御刊行の節は御恵贈賜りたくお願い申し上げます。

記

生物資源経済研究 第15号

1部

2  
0  
5  
8  
6  
0  
6

京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院農学研究科  
生物資源経済学専攻司書室 行



# 受領書

生物資源経済研究 第15号

1部

上記刊行物受領いたしました。

平成 年 月 日

住所

機関名

氏名

印